

## 文化芸術活動の支援策について

### 1 概要

本市は、北九州市文化振興計画の基本理念である「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」の実現に向けて文化芸術の振興に努めている。

市民や地元アーティストの文化芸術活動の支援については、**施策1**の市民の文化活動の促進や、**施策4**の文化芸術の担い手の育成などに基づき、取組を進めている。

#### 「北九州市文化振興計画」(改訂版、平成28年度～令和4年度)

##### 基本理念

市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち

##### 施策1 市民の文化芸術活動の促進

- 市民が行う文化芸術活動への支援・協働
- 文化施設の充実及び活用 など

##### 施策4 文化芸術の担い手の育成

- 人材育成に係る事業の実施
- 文化芸術の専門家を目指す人材の育成 など

### 2 これまでの主な取組について

#### (1) 市民が行う文化芸術活動への支援

市民の自主的な芸術・文化活動を助成する文化振興基金奨励事業を実施(平成13年度から実施。令和4年度は文化芸術活動活性化支援事業と併せて実施)。

[実績] 平成13年度～令和3年度

採択 460件 採択金額 1億1,687万円



地元劇団による公演の様子(奨励事業)

#### (2) 地元アーティストの活躍支援

公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団の文化芸術事業では、積極的に地元アーティストの起用を進め、活動の場を創出。

また、若手アーティストの輩出につながるような育成プログラム等も実施。



##### [取組の例] 北九州国際音楽祭

コンサートマスターの篠崎史紀氏を中心に、オーディションで選ばれた優秀な若手演奏家を核としたオーケストラ

**[取組の例] 「劇トツ×20分」(北九州芸術劇場)**

地元演劇のレベルアップに貢献するため、九州各地の劇団が集い短編演劇を披露し、投票により優秀作品を決定する催し



**[取組の例] 「早期教育プロジェクト」(響ホール)**

東京芸術大学音楽部の講師による公開レッスン

**(3) 文化芸術に関する表彰**

○ 北九州市民文化賞・奨励賞

文化芸術分野において顕著な功績のあった個人・団体を表彰。

[実績] 文化賞 116名・11団体 / 奨励賞 51名・5団体  
(昭和43年度～令和3年度) (平成2年度～令和3年度)

**(4) 市民の文化芸術活動の環境整備**

多様な分野における文化芸術の拠点となる施設の管理運営により、市民の文化芸術活動の環境を整備。

○ 文化芸術の拠点となる主な施設(文化振興計画上の位置づけ)

区分	施設名
文学	文学館、松本清張記念館、図書館
音楽	響ホール、北九州ソレイユホール
美術	美術館、門司港美術工芸研究所
舞台芸術	北九州芸術劇場
メディア芸術	北九州市漫画ミュージアム、松永文庫
自然史・歴史 地域文化	自然史・歴史博物館、埋蔵文化財センター 長崎街道木屋瀬宿記念館

○ 市民会館・文化ホール

区分	施設名
市民会館 文化ホール	門司市民会館、若松市民会館、戸畑市民会館 黒崎文化ホール(黒崎ひびしんホール) 大手町練習場、旧百三十銀行ギャラリー

### 3 令和2・3年度の新型コロナウイルス感染症に係る支援策について

新型コロナウイルス感染症により、本市の文化芸術分野も大きな影響を受けた。コロナ禍においても、アーティストをはじめとする文化芸術関係者を支援し、市民が文化芸術に触れる機会を確保するため、国の緊急事態宣言等の方針による制約や、市内の感染状況を踏まえながら、市独自の支援策を実施した。

#### (1) 芸術文化施設使用料の返還（令和2年度～令和4年度）

イベント等の主催者が、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を理由とする本市の芸術文化施設の使用取りやめ又は延期を行った場合に、既に納付した使用料を全額返還。

##### 返還実績

※令和4年度は令和4年9月末現在

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計(件)
8施設 合計(件)	679	184	9	872

#### (2) 民間文化施設等事業者緊急支援事業（令和2年度）

**支援対象** 福岡県による休業要請等の対象となった本市のライブハウス、劇場、ホール、映画館、演芸場、レコーディング・スタジオ等

**支援内容** 無観客でのパフォーマンスの映像配信に関する設備、感染防止対策に関する設備等の導入費用の8割（上限50万円）

**助成件数** 63件

**助成金額** 27,642千円（令和2年度決算額）

#### (3) 民間文化施設等の動画配信・感染防止対策ワークショップ（令和2・3年度）

**支援対象** (2)の助成を受けたライブハウス等の民間文化施設を運営する事業者

**支援内容**

- ・会場となる施設の関係者による施設の感染対策と配信機材の説明
- ・感染症専門家によるコンサルテーションと質疑応答
- ・映像配信専門家によるコンサルテーションと質疑応答
- ・映像配信ライブ  
（本地域のミュージシャン、アーティスト、劇団等が出演）
- ・施設関係者、参加者、映像配信専門家、出演者による意見交換

##### 実施結果

	会場数 (会場)	参加者数 (人)	決算額 (委託料・千円)
令和2年度	10	215	7,146
令和3年度	12	258	9,986
合計	22	473	17,132



感染症防止対策ワークショップ

(4) 北九州市文化芸術活動再開支援事業 (令和2・3年度)

	令和2年度	令和3年度
<b>支援対象</b>	音楽、演劇、舞踊等を公開の場で実演する事業 (動画配信による無観客公演含む)	広く市民を対象とした音楽、演劇、舞踊、伝統芸能などの公演、絵画、写真、書道などの展示、又は映画、アニメーションなどの上映
<b>助成要件となる施設</b>	ホール、劇場等、ライブハウス	ホール、劇場等、ライブハウス、ギャラリー、映画館
<b>助成金額</b>	施設使用料の50% (1日あたりの上限50万円)	施設使用料及び設備(器具)使用料の50% (1日あたりの上限50万円。展示にあっては、1週間につき上限50万円。)
<b>助成回数</b>	ホール、劇場: 1事業者あたり5回まで ライブハウス: 1事業者あたり5回までかつ1施設あたり10回まで	公演・上映: 1事業者あたり5回までで 1回あたり連続する5日間 展示:1事業者あたり5回までで 1回あたり連続する5週間
<b>助成実績(決算額)</b> 【合計】 528件 48,446千円	助成件数 161件 助成金額 10,787千円	助成件数 367件 助成金額 37,659千円

(5) 北九州市文化芸術活動総合相談窓口の開設 (令和3年12月～)

**概要** 市内で活動している、又は活動を検討する文化芸術関係者を対象とする相談窓口を開設。市が個別に対応していた相談者の様々な声に寄り添い支援していく総合窓口として、北九州市芸術文化振興財団に設置。

**開設日** 令和3年12月1日～試行実施。令和4年4月1日から本格実施。

**対象者** 市内で活動する、又は活動を検討する個人・団体の文化芸術関係者

**受付時間** 月曜日から金曜日 (祝日除く)

10:00～16:00

※メールによる受付は24時間

**相談方法** 電話又はメールによる受付

**相談件数** 135件

(令和3年12月～令和4年9月末まで)





## 4 東アジア文化都市事業におけるアーティスト支援について

### (1) アーティスト等緊急支援事業（令和2年度）

<b>支援対象</b>	市内在住又は市内で主に活動するプロのアーティスト、クリエイター、スタッフ等が自ら作成する3～10分程度の動画作品
<b>支援内容</b>	1人につき5万円を支援（1作品あたり上限50万円・10人まで）
<b>助成件数</b>	127件 493人
<b>助成金額</b>	26,527千円（令和2年度決算額）

### (2) 感染症対策

新しい生活様式に即したモデルイベント「KitaQ Music Days」を開催し、民間事業者の事業再開の促進、アーティスト等への活動機会の提供を行った。併せて「イベント開催時における感染症対策マニュアル」を策定・公開。



### (3) 地元アーティスト等の活躍について

令和3年8月に開催した「未来へつなぐ東アジア伝統芸能の饗宴」や、令和3年11月の閉幕式典など、コア事業や式典で、地元アーティストや草の根的に活動する多くの市民が練習を重ね、市民の力を結集した素晴らしい作品を上演。



創作日本舞踊「鳥獣戯画 EMAKI」

### (4) 市民企画事業「パートナーシップ事業」（令和2・3年度）

<b>支援対象</b>	市内に住所がある個人又は団体
<b>支援内容</b>	東アジア文化都市の実施にあたって、市内全体で開催機運を盛り上げるため、市民が自ら企画・実施する取組やイベントに対し、その経費の一部を助成。

**発信プログラム** 上限 300万円（1次）100万円（3・4次）

**参加プログラム** 上限 30万円

助成対象経費の2/3以内の金額

**助成件数** 74件に交付  
(うち64件が事業実施)

**助成金額** 28,841千円（令和2・3年度決算額）



WAKAZONO タウンパレード

## 5 文化芸術活動活性化支援事業（令和4年度）

**支援対象** 市内に住所がある個人・又は団体

**支援内容** 東アジア文化都市をきっかけにスタートした事業や、アフターコロナを見据えて活動の充実を目指す事業等のステップアップを支援するため、その経費の一部を助成。

限度額100万円

（東アジア文化都市レガシー事業 限度額300万円）

事業経費から事業収入を除いた範囲のうち1/2を超えない金額、かつ助成対象経費の2/3以内の金額

**予算現額** 4,000万円（助成金額）

**助成状況**

	採択件数 (件)	交付予定額 (千円)
1次募集 (R4. 2. 15~2. 28)	68	19,460
2次募集 (R4. 8. 1~8. 31)	35	10,600
募集延長 (R4. 9. 1~12. 20)	申請受付中	
合計	103	30,060

### 採択事業の例

- KITAKYU JAZZ STREET 2022
- 子どもと留学生の能楽発表会と多文化団体との交流会
- WAKAZONOタウンフェス
- メイドイン北九州～北九州を舞台に映画を撮ってみよう！～
- 作曲家・池辺晋一郎の講演と音楽の夕べ
- Opera Gala Concert～魅惑のオペラ・至極のひとつとき～



池辺晋一郎の講演と音楽の夕べ

### 助成金の活用者からのコメント

- 助成金のおかげでいつもの事業よりステップアップできた。
- 助成金がなければ実施していなかった。
- 今後も支援事業を継続してほしい。
- 開催はできなかったが、準備にかかった費用を助成してもらい助かった。
- とても有難い支援だった。大きなホールで事業を行うにはお金がかかるが、出演者にとっては大変価値のあることで、今後も続けたい。

## 6 まとめ

本市は、長期に渡るコロナ禍においても、文化芸術の灯を絶やすことのないよう、国の方針や、感染拡大の状況を注視しながら、「東アジア文化都市事業」を開催するとともに、コロナ禍の局面に応じて、文化芸術活動に対する市独自の支援策を実施してきた。

今年度は、本市にとって、東アジア文化都市を契機とした文化芸術の機運を停滞させることなく未来につないでいくための第一歩となる一年である。

さらに、市民や地元アーティストにとっても、アフターコロナに向けて活動を再興・充実させるための重要な一年であり、「文化芸術活動活性化支援事業」による助成を通じて支援していきたいと考えている。

### 北九州市における文化芸術活動支援策について（令和2～4年度）

#### コロナ禍の文化芸術活動を守る 東アジア文化都市による機運の醸成(R2・3)

##### 東アジア文化都市北九州 2020・21の開催

##### 東アジア文化都市パートナーシップ事業(R2・3)

- 【対象】市内（居住）の文化芸術関係者で採択された者
- 市民が企画する文化芸術事業への助成（2/3以内）

##### アートでつなぐ未来プロジェクト・アーティスト緊急支援事業(R2)

- 【対象】市内（居住 or 拠点）の文化芸術関係者（プロ限定）
- 動画の作品制作にかかる経費（人件費）を助成（上限50万円）
- ※作品は、東アジア文化都市のYouTubeで公開

##### 民間施設等事業者緊急支援事業[ワークショップ](令和2・3年度)

- 【対象】ライブハウスの経営者、アーティスト等
- 専門家による映像配信&感染症対策のワークショップを開催
  - ワークショップではアーティストが実演（アーティストへの報酬支払い）

##### 施設使用料の返還(令和2年度～令和4年度)

- 【対象】文化芸術関係者全般（市立の芸術文化施設を利用する場合）
- 新型コロナウイルス感染拡大防止を理由としたキャンセル時の市立の芸術文化施設の使用料を全額返還

##### 民間施設等事業者緊急支援事業[配信機材の助成](令和2年度)

- 【対象】ライブハウスの経営者
- 映像配信機材の購入や感染防止対策の経費を助成（8割・上限50万円）

##### 文化芸術活動再開支援助成金(令和2・3年度)

- 【対象】文化芸術関係者全般
- 公演、展示、上映の施設使用料等への助成（1/2以内・上限50万円）

#### アフターコロナを見据えた活動の再興と発展 東アジア文化都市のレガシー継承(R4)

##### 文化芸術活動活性化支援事業(R4～)

- 【対象】市内（居住）の文化芸術関係者で採択された者
- 市民が企画する文化芸術事業への助成（1/2以内）
- 【上限】①東アジア文化都市レガシー 300万円  
②その他 100万円

##### 文化芸術活動総合相談窓口(R3.12～)

- 【対象】市内で活動する、活動を検討している文化関係者
- 申請書の書き方のレクチャーや内容に関するアドバイス
  - 国・自治体や民間の支援、助成制度の紹介
  - 業種別ガイドラインや参考となる感染対策事例の紹介

段階・局面に応じた支援により、  
文化芸術活動の継続、充実・発展を図る